

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年11月16日 No. 34 文責：佐野紳二

木曜日はドレミファ発表会です きれいな音色をみんなの心に響かせよう

18日(木)はドレミファ発表会です。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまったので、2年ぶりの開催となります。子どもたちも各学年の先生方も、18日の発表会に向けて「よりよい演奏を創り上げよう」と頑張っています。今日の学校通信では、プログラムの代わりに、各学年の演奏曲とそれぞれの曲の見どころ・聴きどころを紹介します。

1年生 「きらきらぼし」

みなさんにお馴染みの「きらきら星」がいろいろな星に変わって登場します。楽しくてワルツを踊っているような「うきうきぼし」。悲しそうな「めそめそぼし」。ノリノリでロック調の「のりのりぼし」。途中で、星ではない「〇〇ぼし」も出てきます。それぞれの様子に合わせて演奏します。いろいろな「きらきら星」を楽しんでください。



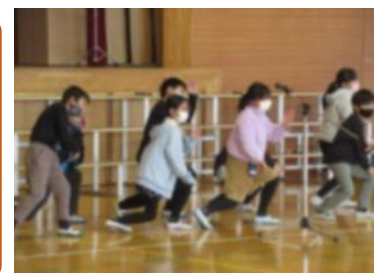
2年生 「カエルの合唱」「小ぎつね」「アイアイ」

2年生は鍵盤ハーモニカを中心とした楽器の演奏を発表します。発表のタイトルは「あつまれどうぶつの森」です。2年生の音楽では、生き物をテーマとした曲を多く学習します。その中から「カエルの合唱」「小ぎつね」「アイアイ」の3曲を演奏します。指使いが難しい曲にも挑戦しています。お面をつけて動物に扮して演奏するところにも、ぜひ注目してください。



3年生 「パフ」「ビリーブ」

3年生は新しく習ったリコーダーで「パフ」を演奏します。はじめは全員でリコーダーを吹き、合奏にも挑戦します。また、総合的な学習の時間で「福祉」について学んだことを生かし、手話を使って「believe」を歌います。息を合わせて全身で歌詞を表現する様子をぜひ見ていただきたいです。



4年生 「オーラリー」「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」

4年生はリコーダー演奏とさまざまな楽器を使った合奏を発表します。リコーダー演奏の「オーラリー」では、高音と低音の2パートに分かれてハーモニーを響かせます。2曲目は「オーラリー」とは対照的なアップテンポで明るい曲調の「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」を合奏します。たくさんの楽器を使って頑張っている4年生の姿をぜひ見てください。



5年生 「アフリカンシンフォニー」

5年生は、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、打楽器などを使って「アフリカンシンフォニー」を演奏します。テンポやリズムを合わせて演奏できるよう一生懸命練習してきました。アフリカの広大な大地を想像しながら、ぜひ聴いてください。



6年生 「組曲・惑星より『木星』」

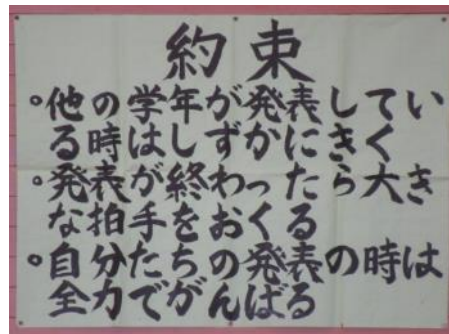
6年生の音楽の教科書に載っている鑑賞教材として慣れ親しんだ、ホルストの「組曲・惑星」のうち、もっとも有名な「木星」にチャレンジします。変化の多い難しい曲ですが、だからこそ気持ちをひとつにした子どもたちのがんばりを見て、聴いていただきたいです。



全校合奏 「紅蓮華」(カスタネット3重奏)「Pretender」(ボディパーカッション)

鬼滅の刃のテーマ曲「紅蓮花」では、低・中・高学年の3つのパートに分かれてカスタネット3重奏を行います。1年生から4年生は自分たちで作った手作りカスタネットを使います。

Official 髭男dism「Pretender」では、ボディパーカッションを行います。曲の中盤にあるリズムの掛け合いが見せ場です。どちらの曲も、全校で気持ちを一つに合わせて演奏する姿をご覧ください。



☆彡 すでにご案内のとおり、今年度は体育館の収容人数の関係から、保護者の皆様には午前中の学年ごとの発表の様子をご覧ください。各学年5分程度の演奏時間に対して、20分の時間が割り当てられています。各学年とも、20分の中で何度か練習をしてから、保護者の皆様に向けての発表となるかと思しますので、ご了承ください。

☆彡 その他、各ご家庭へのお願い等については、11月5日に配付いたしました「ドレミファ発表会の御案内2」をご覧ください。(ホームページの「お知らせ」にも通知をアップしました)

今週の「イイね！」 北小の切り替えの速さが👍

音楽発表会に向けて、何度か全校が集まって練習をしています。今回はカスタネット3重奏を演奏するので、全員がカスタネットを持っています。普通だと話を聞いているときや演奏の前後に余計なカスタネットの音がしてしまうものですが、北小の子どもたちからはその音があまり聞こえてきません。簡単そうで難しいことなのですが、しっかりできる北小の子はとても素晴らしいです！



先日、先週の木曜日に実施した3年生の校外学習のようすをホームページの「学校のひろば」に掲載しました。お時間のある方はご覧になってください。